

東公園に恐竜出現

東公園動物園は、昭和58年のオープン以来、子どもから大人まで多くの人に親しまれ、昨年開園30周年を迎えました。しかし現在、高齢化し、減りつつある動物たちをどうしていくのかという大きな問題に直面しています。

近年、国際的な野生動物保護と動物福祉に対する機運の高まりの中で、新

市長室より

Next!
岡崎
次の新しい おかざき



岡崎市長
内田 康宏

たに希少な動物を入手することは困難な状況となっています。そこで、子どもたちの想像力を育み、夢を膨らませて親子で楽しめる実物大のリアルな恐竜ミニユメントを設置することにしました。これはある篤志家からの寄付によるもので、今月末には5体のうち1体が時計塔北側広場にお目見えします。全体がそろって正式なお披露目は来月3月末になりますが、一足早く子どもたちへのクリスマスプレゼントになればと思っています。

今後、東公園動物園は、これまで通り無料でポニーや羊といった身近な動物とふれあえる親しみのある施設として整備していきたいと考えています。また、東名高速道路東側の森林の中には、最新の学説に基づく物語性のあるジオラマ「(仮称)恐竜の森」を整備していく構想も抱いています。